

グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)

運用報告書 (全体版)

第4期 (決算日 2019年7月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)」は、2019年7月22日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2015年8月31日から2025年7月22日までです。	
運用方針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<642851>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	み 期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率		
(設定日)	円		円	%		%	%	百万円
2015年8月31日	10,000		—	—	100.00	—	—	89,867
1期(2016年7月20日)	9,893		0	△ 1.1	95.92	△ 4.1	94.4	369,339
2期(2017年7月20日)	13,227		0	33.7	142.19	48.2	97.5	375,976
3期(2018年7月20日)	14,640		0	10.7	164.92	16.0	95.5	507,278
4期(2019年7月22日)	14,439		0	△ 1.4	150.22	△ 8.9	95.5	367,730

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2019年7月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2018年7月20日	14,640	—	164.92	—	95.5
7月末	14,533	△ 0.7	163.63	△ 0.8	93.5
8月末	14,928	2.0	171.09	3.7	93.9
9月末	15,226	4.0	171.53	4.0	95.4
10月末	13,353	△ 8.8	145.53	△ 11.8	95.7
11月末	13,990	△ 4.4	151.13	△ 8.4	96.8
12月末	12,298	△ 16.0	129.64	△ 21.4	96.1
2019年1月末	13,253	△ 9.5	141.70	△ 14.1	97.0
2月末	14,169	△ 3.2	156.18	△ 5.3	96.3
3月末	14,273	△ 2.5	153.96	△ 6.6	96.7
4月末	15,257	4.2	168.05	1.9	97.8
5月末	13,486	△ 7.9	145.10	△ 12.0	97.7
6月末	14,449	△ 1.3	154.16	△ 6.5	96.3
(期 末)					
2019年7月22日	14,439	△ 1.4	150.22	△ 8.9	95.5

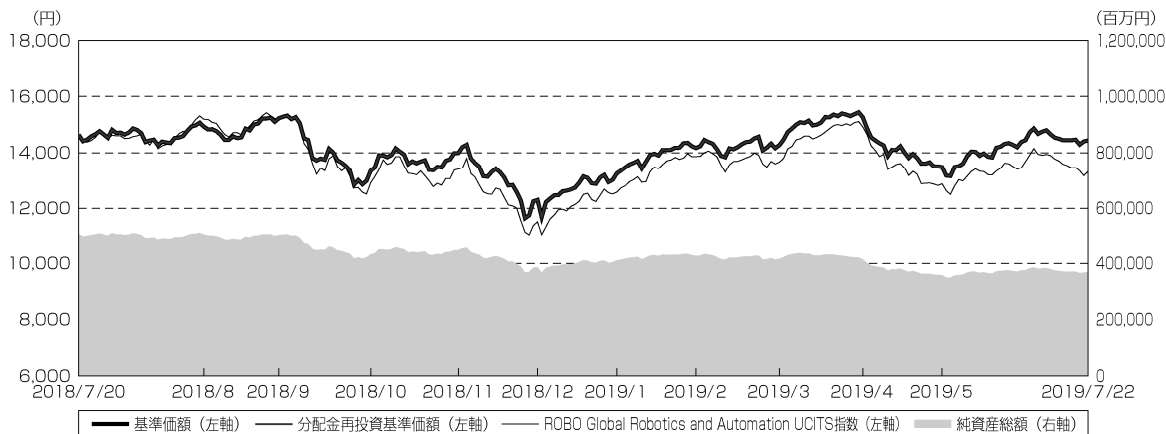
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2018年7月21日～2019年7月22日)

期中の基準価額等の推移



期 首 : 14,640円
 期 末 : 14,439円 (既払分配金 (税込み) : 0円)
 騰 落 率 : △1.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、期首（2018年7月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 旺盛な需要を背景に、農業自動化関連や研究室自動化関連などの銘柄の株価が比較的堅調に推移したこと。
- ・ 中期的な市場拡大が見込まれるIoT（モノのインターネット）関連や物流関連の銘柄の株価が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・米中の貿易摩擦などを背景とした世界経済の減速懸念。
- ・地政学的リスクへの懸念が高まったこと。

投資環境

（株式市況）

当期間の世界の株式市場は、米国の好調な企業決算が評価されたことなどから比較的堅調な展開で始まりましたが、その後は、主力ハイテク企業の決算が市場予想を下回ったことや米国の長期金利の上昇が警戒されたこと、米中の貿易問題が長期化するとの観測を背景に、大きく調整する展開となりました。グローバル経済の減速懸念が台頭し、2018年末にかけて軟調な展開となりました。

しかしその後、米中通商協議の進展期待や米国の追加利上げの休止観測などから投資家心理が改善し、世界の株式市場は大きく上昇する展開となりました。2019年5月に入り、米中間における追加関税や米国による中国通信機器大手への輸出規制の発表を受け、貿易摩擦の再燃に対する警戒感から反落する局面はあったものの、6月末の米中首脳会談での追加関税の先送りや米国の利下げ観測などを背景に、世界の株式市場は堅調な展開となりました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、中長期的なロボティクス市場の拡大期待を背景に、農業関連や研究室自動化関連などの銘柄が好調に推移しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

当ファンドでは、ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目して運用を行いました。

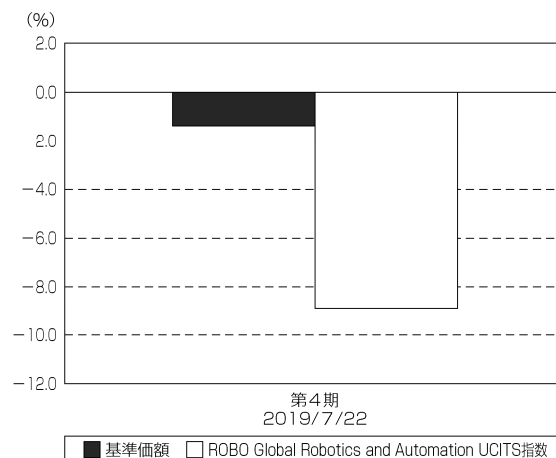
当期間は、情報技術セクターや資本財・サービスセクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行いました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待される情報技術セクターや資本財・サービスセクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期	
	2018年7月21日～ 2019年7月22日	
当期分配金	—	
（対基準価額比率）	—%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	4,439	

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

株式市場では、米国が中国をはじめ日本や欧州などの貿易交渉をどのように進めるのか、英国のEU（欧州連合）離脱がどう決着するのか、中東や北朝鮮を巡る緊張など、まだまだ不透明な要素が多く残っています。

今後も不透明な外部環境が予想されるものの、先進国や中国における生産年齢人口の減少という人口動態の変化や、新興国での賃金上昇、テクノロジーの進歩といった、当ファンドの成長ストーリーの根幹をなす要素は、足元で生じている様々な混乱などによって大きく変化するものではありません。

これに加え、米国における生産比率の引き上げを余儀なくされる企業からの投資や、今回の関税引き上げを契機に中国から生産拠点を分散しようとする企業の投資が行なわれることにより、自動化の流れは更に促される可能性も高まっていると考えられます。また、テクノロジーの進化が、医療の高度化・効率化、移動の効率化など人々の暮らしをより良くするために活用される流れも変わらないと考えており、引き続きこれらの分野も投資魅力は高いと考えています。

このように大きな流れが変わらないなか、短期的な株価変動は割高な銘柄を売り、割安な銘柄を買うチャンスと捉えており、この機会を活用してバリュエーション（株価評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

引き続き、強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月21日～2019年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	270	1.911	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(130)	(0.923)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(130)	(0.923)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(9)	(0.065)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.010	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(1)	(0.010)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.017	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	273	1.938	
期中の平均基準価額は、14,101円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

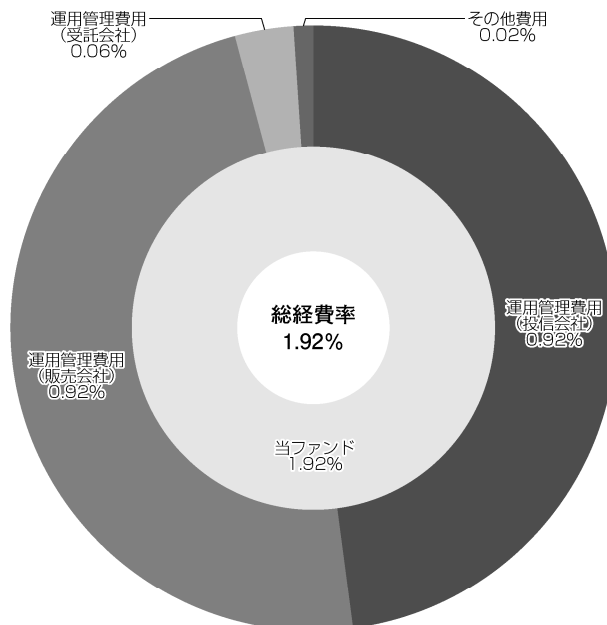
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月21日～2019年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 90,051,520	千円 138,626,975

○株式売買比率

(2018年7月21日～2019年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	337,170,486千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	905,255,501千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.37	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月21日～2019年7月22日)

利害関係人との取引状況

<グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
金銭信託	百万円 112,643	百万円 112,643	% 100.0	百万円 112,643	百万円 112,643	% 100.0

<グローバル・ロボティクス株式マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
金銭信託	百万円 39,433	百万円 39,433	% 100.0	百万円 39,433	百万円 39,433	% 100.0

平均保有割合 45.7%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2018年7月21日～2019年7月22日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2018年7月21日～2019年7月22日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2019年7月22日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	323,383,841	233,332,320	363,975,087

（注）親投資信託の2019年7月22日現在の受益権総口数は、523,551,410千口です。

○投資信託財産の構成

（2019年7月22日現在）

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	363,975,087	97.5
コール・ローン等、その他	9,189,654	2.5
投資信託財産総額	373,164,741	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

（注）グローバル・ロボティクス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（573,898,743千円）の投資信託財産総額（823,819,274千円）に対する比率は69.7%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=107.98円、1ユーロ=121.07円、1スイスフラン=109.79円、1スウェーデンクローナ=11.50円、1新台幣ドル=3.48円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年7月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	373,164,741,500
コール・ローン等	7,631,252,776
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド(評価額)	363,975,087,175
未収入金	1,558,401,549
(B) 負債	5,433,874,888
未払解約金	1,608,595,390
未払信託報酬	3,799,025,106
未払利息	13,146
その他未払費用	26,241,246
(C) 純資産総額(A-B)	367,730,866,612
元本	254,674,321,973
次期繰越損益金	113,056,544,639
(D) 受益権総口数	254,674,321,973口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,439円

(注) 当ファンドの期首元本額は346,504,148,571円、期中追加設定元本額は21,843,243,672円、期中一部解約元本額は113,673,070,270円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.4439円です。

○損益の状況（2018年7月21日～2019年7月22日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,743,249
受取利息	14,541
支払利息	△ 2,757,790
(B) 有価証券売買損益	4,111,150,203
売買益	8,213,929,327
売買損	△ 4,102,779,124
(C) 信託報酬等	△ 8,237,921,957
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,129,515,003
(E) 前期繰越損益金	50,155,408,183
(F) 追加信託差損益金	67,030,651,459
(配当等相当額)	(32,866,900,257)
(売買損益相当額)	(34,163,751,202)
(G) 計(D+E+F)	113,056,544,639
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	113,056,544,639
追加信託差損益金	67,030,651,459
(配当等相当額)	(32,903,627,551)
(売買損益相当額)	(34,127,023,908)
分配準備積立金	50,155,408,183
繰越損益金	△ 4,129,515,003

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2018年7月21日～2019年7月22日の期間に当ファンドが負担した費用は1,363,389,798円です。

(注) 分配金の計算過程(2018年7月21日～2019年7月22日)は以下の通りです。

項 目	2018年7月21日～ 2019年7月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	62,901,136,456円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	50,155,408,183円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	113,056,544,639円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,439円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2018年7月21日から2019年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年4月20日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（第59条、第60条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2019年7月22日）
（2018年7月21日～2019年7月22日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638110>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2015年8月31日	10,000	—	100.00	—	—	124,373
1期(2016年7月20日)	10,059	0.6	95.92	△ 4.1	95.2	513,039
2期(2017年7月20日)	13,751	36.7	142.19	48.2	98.4	580,813
3期(2018年7月20日)	15,521	12.9	164.92	16.0	96.5	1,051,167
4期(2019年7月22日)	15,599	0.5	150.22	△ 8.9	96.5	816,685

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2019年7月22日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2018年7月20日	15,521	—	164.92	—	96.5
7月末	15,416	△ 0.7	163.63	△ 0.8	94.3
8月末	15,865	2.2	171.09	3.7	94.9
9月末	16,210	4.4	171.53	4.0	96.5
10月末	14,222	△ 8.4	145.53	△ 11.8	96.7
11月末	14,931	△ 3.8	151.13	△ 8.4	97.7
12月末	13,125	△ 15.4	129.64	△ 21.4	96.9
2019年1月末	14,180	△ 8.6	141.70	△ 14.1	97.8
2月末	15,191	△ 2.1	156.18	△ 5.3	97.2
3月末	15,328	△ 1.2	153.96	△ 6.6	97.8
4月末	16,419	5.8	168.05	1.9	98.8
5月末	14,522	△ 6.4	145.10	△ 12.0	98.6
6月末	15,590	0.4	154.16	△ 6.5	97.2
(期末)					
2019年7月22日	15,599	0.5	150.22	△ 8.9	96.5

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年7月21日～2019年7月22日)

基準価額の推移

期間の初め15,521円の基準価額は、期間末に15,599円となり、騰落率は+0.5%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ 旺盛な需要を背景に、農業自動化関連や研究室自動化関連などの銘柄の株価が比較的堅調に推移したこと。
- ・ 中期的な市場拡大が見込まれるIoT（モノのインターネット）関連や物流関連の銘柄の株価が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

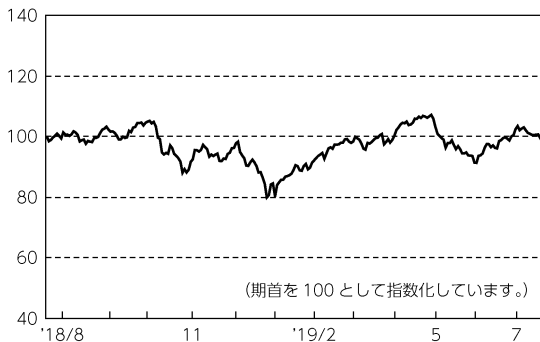
- ・ 米中の貿易摩擦などを背景とした世界経済の減速懸念。
- ・ 地政学的リスクへの懸念が高まったこと。

基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2018/07/20	2019/04/25	2018/12/25	2019/07/22
15,521円	16,613円	12,412円	15,599円

基準価額（指数化）の推移



ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（指数化）の推移



(株式市況)

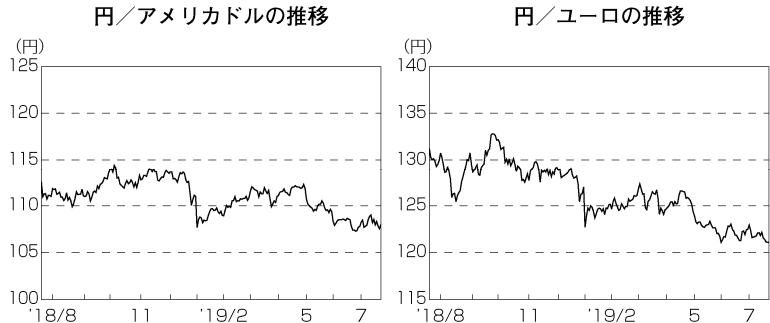
当期間の世界の株式市場は、米国の好調な企業決算が評価されたことなどから比較的堅調な展開で始まりましたが、その後は、主力ハイテク企業の決算が市場予想を下回ったことや米国の長期金利の上昇が警戒されたこと、米中の貿易問題が長期化すると観測を背景に、大きく調整する展開となりました。グローバル経済の減速懸念が台頭し、2018年末にかけて軟調な展開となりました。

しかしその後、米中通商協議の進展期待や米国の追加利上げの休止観測などから投資家心理が改善し、世界の株式市場は大きく上昇する展開となりました。2019年5月に入り、米中間における追加関税や米国による中国通信機器大手への輸出規制の発表を受け、貿易摩擦の再燃に対する警戒感から反落する局面はあったものの、6月末の米中首脳会談での追加関税の先送りや米国の利下げ観測などを背景に、世界の株式市場は堅調な展開となりました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、中長期的なロボティクス市場の拡大期待を背景に、農業関連や研究室自動化関連などの銘柄が好調に推移しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

当ファンドでは、ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目して運用を行ないました。

当期間は、情報技術セクターや資本財・サービスセクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待される情報技術セクターや資本財・サービスセクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

○今後の運用方針

株式市場では、米国が中国をはじめ日本や欧州などとの貿易交渉をどのように進めるのか、英国のEU（欧州連合）離脱がどう決着するのか、中東や北朝鮮を巡る緊張など、まだまだ不透明な要素が多く残っています。

今後も不透明な外部環境が予想されるものの、先進国や中国における生産年齢人口の減少という人口動態の変化や、新興国での賃金上昇、テクノロジーの進歩といった、当ファンドの成長ストーリーの根幹をなす要素は、足元で生じている様々な混乱などによって大きく変化するものではありません。

これに加え、米国における生産比率の引き上げを余儀なくされる企業からの投資や、今回の関税引き上げを契機に中国から生産拠点を分散しようとする企業の投資が行なわれることにより、自動化の流れは更に促される可能性も高まっていると考えられます。また、テクノロジーの進化が、医療の高度化・効率化、移動の効率化など人々の暮らしをより良くするために活用される流れも変わらないと考えており、引き続きこれらの分野も投資魅力は高いと考えています。

このように大きな流れが変わらないなか、短期的な株価変動は割高な銘柄を売り、割安な銘柄を買うチャンスと捉えており、この機会を活用してバリュエーション（株価評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

引き続き、強みであるボトムアップアプローチによるアクティブ運用のノウハウを活かし、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業を中心に注目していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月21日～2019年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.011 (0.011)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	3	0.019	
期中の平均基準価額は、15,083円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月21日～2019年7月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		966 (△28,132)	6,056,792 ()	12,785	64,261,625
外 国	アメリカ	百株 32,580 (7,622)	千アメリカドル 467,500 (3,351)	百株 161,323 (2,078)	千アメリカドル 1,567,651 (3,351)
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3,357	30,967	15,186	176,218
	フランス	—	—	20,812	111,860
国	スイス	—	千スイスフラン —	4,376	千スイスフラン 8,147
	スウェーデン	—	千スウェーデンクローナ —	3,436	千スウェーデンクローナ 84,384
	台湾	— (2,533)	千新台幣ドル — (39,902)	— (1,350)	千新台幣ドル — (45,525)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年7月21日～2019年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	337,170,486千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	905,255,501千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.37

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月21日～2019年7月22日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 39,433	百万円 39,433	% 100.0	百万円 39,433	百万円 39,433	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年7月21日～2019年7月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
機械 (24.6%)			
アマダホールディングス	547.5	—	—
ディスコ	268.1	259.9	5,146,020
SMC	245	237.5	9,611,625
ハーモニック・ドライブ・システムズ	1,200	1,200	4,830,000
ダイフク	4,438.9	4,302.9	25,214,994
THK	5,656.9	5,483.5	14,695,780
電気機器 (72.8%)			
日立製作所	37,697	7,308.4	28,838,946
三菱電機	9,946.7	4,287	6,081,109
安川電機	5,597.053	4,441.053	16,098,817
日本電産	1,031	999.4	13,961,618

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
オムロン	2,696	—	—	
ソニー	4,102	3,652.8	21,273,907	
キーエンス	887.1	570.2	37,302,484	
ファナック	1,529.4	1,200.3	22,841,709	
村田製作所	735.5	2,139	10,019,076	
東京エレクトロン	1,173	1,137.1	19,637,717	
情報・通信業 (2.6%)				
ソフトバンクグループ	617.7	1,197.6	6,274,226	
合 計	株 数・金 額	78,368	38,416	241,828,029
	銘柄数<比率>	17	15	<29.6%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
DEERE & CO	18,758	10,280	170,247	18,383,279	資本財	
APTIV PLC	17,831	17,285	138,435	14,948,272	自動車・自動車部品	
EATON CORP PLC	29,265	22,804	182,112	19,664,534	資本財	
TECHNIPPMC PLC	19,238	—	—	—	エネルギー	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	20,789	13,083	226,322	24,438,337	資本財	
MEDTRONIC PLC	22,165	15,737	158,628	17,128,755	ヘルスケア機器・サービス	
OCEANEERING INTL INC	32,592	31,593	56,551	6,106,427	エネルギー	
PARKER HANNIFIN CORP	11,080	3,508	59,499	6,424,722	資本財	
QIAGEN N. V.	14,845	21,800	86,197	9,307,573	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
IQVIA HOLDINGS INC	9,867	9,565	149,070	16,096,635	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROCKWELL AUTOMATION INC	24,848	9,169	146,664	15,836,855	資本財	
STRYKER CORP	18,042	11,893	247,398	26,714,056	ヘルスケア機器・サービス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	11,060	8,155	236,348	25,520,879	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JOHNSON CONTROLS INTERNATION	51,750	—	—	—	資本財	
ANALOG DEVICES INC	11,420	11,070	128,168	13,839,630	半導体・半導体製造装置	
APPLIED MATERIALS INC	44,441	43,079	205,960	22,239,636	半導体・半導体製造装置	
AUTODESK INC	6,304	6,111	103,465	11,172,187	ソフトウェア・サービス	
COGNEX CORP	12,627	15,921	67,361	7,273,721	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ALPHABET INC-CL C	3,306	3,582	404,801	43,710,500	メディア・娯楽	
INTEL CORP	22,337	21,652	108,844	11,753,040	半導体・半導体製造装置	
INTUITIVE SURGICAL INC	10,464	5,499	290,818	31,402,584	ヘルスケア機器・サービス	
IPG PHOTONICS CORP	—	8,019	105,530	11,395,133	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	8,428	8,170	75,417	8,143,556	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	—	7,617	128,300	13,853,914	半導体・半導体製造装置	
NXP SEMICONDUCTORS NV	—	4,842	47,432	5,121,732	半導体・半導体製造装置	
PTC INC	12,794	12,402	109,125	11,783,338	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	15,903	15,416	115,620	12,484,647	半導体・半導体製造装置	
SPLUNK INC	9,553	6,274	86,669	9,358,522	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	21,569	12,694	55,828	6,028,330	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	—	856	85,338	9,214,826	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	481,277 26	358,077 28	3,976,158 —	429,345,634 <52.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
CONTINENTAL AG	4,318	—	—	—	自動車・自動車部品	
INFINEON TECHNOLOGIES AG	38,669	37,484	62,523	7,569,731	半導体・半導体製造装置	
SAP SE	17,530	11,204	125,489	15,192,987	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	60,518 3	48,688 2	188,012 —	22,762,718 <2.8%>	
(ユーロ…フランス)						
SCHNEIDER ELECTRIC SE	31,632	24,230	184,881	22,383,570	資本財	
VALEO SA	13,410	—	—	—	自動車・自動車部品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	45,043 2	24,230 1	184,881 —	22,383,570 <2.7%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	105,561 5	72,919 3	372,894 —	45,146,289 <5.5%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(スイス) ABB LTD-REG	百株 142,826	百株 138,449	千スイスフラン 257,100	千円 28,227,096	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1	1	— <3.5%>	
(スウェーデン) ASSA ABLOY AB-B HEXAGON AB-B SHS	71,170 40,959	68,989 39,703	千スウェーデンクローナ 1,523,967 1,914,122	17,525,630 22,012,409	資本財 テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	112,129 2	108,692 2	3,438,090 — <4.8%>	
(台湾) HIWIN TECHNOLOGIES CORP	39,420	40,602	千新台幣ドル 1,086,119	3,779,696	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	39,420 1	40,602 1	1,086,119 — <0.5%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	881,213 35	718,741 35	— 546,036,757 <66.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 787,864,786	% 95.6
コール・ローン等、その他	35,954,488	4.4
投資信託財産総額	823,819,274	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(573,898,743千円)の投資信託財産総額(823,819,274千円)に対する比率は69.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=107.98円、1ユーロ=121.07円、1スイスフラン=109.79円、1スウェーデンクローナ=11.50円、1新台幣ドル=3.48円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	823,819,274,582	
コール・ローン等	28,159,453,454	
株式(評価額)	787,864,786,931	
未収入金	7,430,158,309	
未取配当金	364,875,888	
(B) 負債	7,133,971,447	
未払解約金	7,133,957,742	
未払利息	13,705	
(C) 純資産総額(A-B)	816,685,303,135	
元本	523,551,410,829	
次期繰越損益金	293,133,892,306	
(D) 受益権総口数	523,551,410,829口	
1万口当たり基準価額(C/D)	15,599円	

(注) 当ファンドの期首元本額は677,249,888,909円、期中追加設定元本額は9,766,309,266円、期中一部解約元本額は163,464,787,346円です。

(注) 2019年7月22日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	255,446,785,419円
・グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	233,332,320,774円
・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)	17,452,363,774円
・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)	14,851,656,249円
・グローバル・メガピース	2,468,284,613円

(注) 1口当たり純資産額は1.5599円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2018年7月21日～2019年7月22日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	13,387,094,437	
受取配当金	13,388,357,105	
受取利息	3,607	
その他収益金	192,829	
支払利息	△ 1,459,104	
(B) 有価証券売買損益	△ 12,209,671,802	
売買益	69,806,950,347	
売買損	△ 82,016,622,149	
(C) 保管費用等	△ 77,120,220	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,100,302,415	
(E) 前期繰越損益金	373,917,220,902	
(F) 追加信託差損益金	5,134,213,300	
(G) 解約差損益金	△ 87,017,844,311	
(H) 計(D+E+F+G)	293,133,892,306	
次期繰越損益金(H)	293,133,892,306	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2018年7月21日から2019年7月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年4月20日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。
(第53条)